



# プライベートクラウドの理想を追求する実践的なソリューションがあります。

ユニアデックスは、特定のベンダーに限定せず幅広い製品・技術を使った仮想化システムを構築しており、すでに数多くの経験と実績を持っています。また、サーバー技術はもちろんネットワーク構築や運用サポートでの強みを活かし、運用管理までを視野に入れた全体最適化のノウハウがあります。ユニアデックスの仮想化データセンターソリューションなら、日々進化を続ける仮想化技術をいち早く取り込み、プライベートクラウドのメリットを最大限に活かすデータセンター構築が可能です。



## Virtualized Datacenter

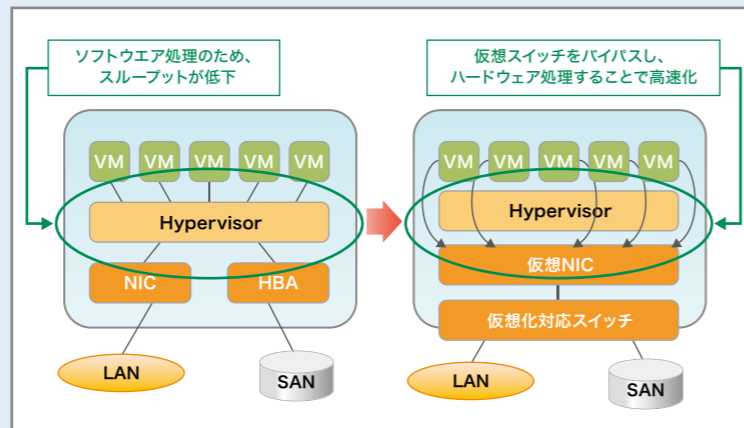
### 仮想化を成功へ

Key To Success 1

仮想化システムの採用が広がる一方、予期しない原因により、その効果をうまく引き出せないケースも報告されています。仮想化データセンターソリューションでは、課題解決のベストプラクティスを利用し、仮想化の成功へとお客様を確実に導きます。

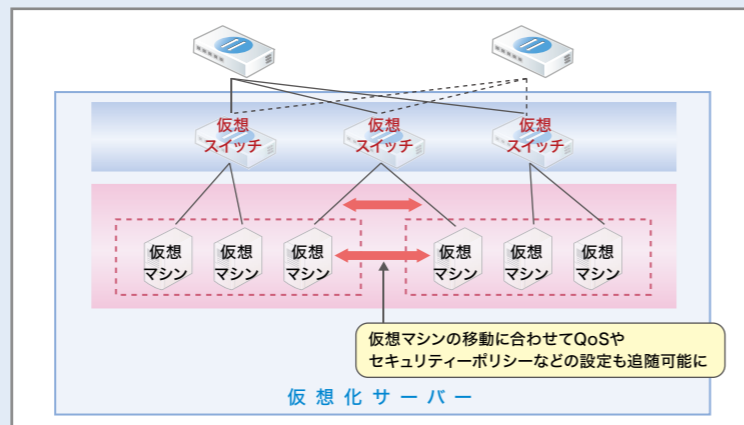
#### I/O処理のボトルネックを解消

仮想化ソフトウェアによるスイッチングでは、多数の仮想サーバーが作り出すトラフィックのI/O処理に限界が生じてしまいます。10GbE、FCoE、仮想NIC機能に対応した新しい仮想化専用アダプターを採用することで、I/Oをハードウェア的に高速処理し、I/Oのオーバーヘッド低減、ボトルネック解消を実現します。



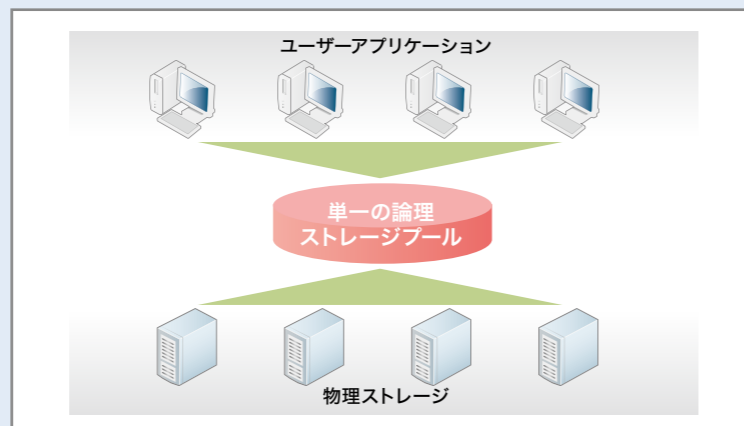
#### ネットワークの仮想化を進める

サーバー仮想化にネットワークが対応していないと、仮想マシンの移動や仮想スイッチの動作状況がネットワーク側から見えず、セキュリティポリシーの適用やQoSの確保が追いつかないことがあります。最新の仮想スイッチソフトウェアや管理フレームワークを利用し、仮想環境と物理環境で同一の管理手法を適用することで、仮想マシン単位でのトラフィックの見える化、動的なネットワーク管理を実現します。



#### ファイルストレージ仮想化

ストレージ利用の非効率性は仮想化の大きな妨げとなります。マルチベンダー環境、異機種混在環境にあるファイルストレージをデータセンター全体で仮想化し、論理的に単一のストレージプールとしてユーザーやアプリケーションに提供することで、データ移行作業のノンストップ化、自動化を推進。さらにはファイルの利用頻度や重要度により最適な保存先を自動選択&保存するといった情報ライフサイクル管理 (ILM) を実現し、投資効率の向上、運用効率の最大化を可能にします。



### 仮想化運用を省力・効率化

Key To Success 2

企業内に分散したサーバーを仮想化データセンターへ統合する際、多くの場合は運用管理の複雑化が懸念されます。従来の手法にとらわれず、仮想化の特長を踏まえた運用管理へと方法を改めることで、プライベートクラウド全体の運用を省力化・効率化することができます。

#### ITサービス管理 (ITSM)

仮想環境に対応した最新の運用管理ソフトウェアにより、ITILをベースとした監視、サービスデスク、問題管理、変更管理、キャパシティ管理などを統合的に実施。構成管理 (CMDB) を使った管理ワークフローの自動化を進めるとともに、ライフサイクルマネジメントによる継続的な運用改善、サービス改善を行います。

#### 仮想化環境の見える化

データセンターで稼働する数多くのアプリケーションや仮想マシン、そしてサーバーやストレージ、ネットワークなどの構成、依存関係をリアルタイムに把握し、運用管理手順の自動化を図ります。これにより仮想マシンの柔軟な配置、リソース利用の最適化を手際よく進めることができます。

#### 運用自動化

#### 障害復旧時間の短縮

ICTリソースの自動検索とモデルベース管理を進めるほか、ICTリソースとエンドユーザーを関連づける管理手法を採用。根本原因とビジネスインパクトの自動解析機能を利用し、原因究明の迅速化、インシデント対応の自動化などを推進。これにより障害切り分け・復旧時間を短縮し、サービスレベルが向上します。

#### プロビジョニングコストの低減

統合デバイス管理やプロビジョニング機能により、膨大な数のコア、ノードを単一のデータセンター基盤として監視・運用・管理します。プロファイルベースの管理により、データセンター全体のポリシー管理、コンプライアンス対策を大幅に効率化し、ハードウェア障害時、拡張時の迅速かつ低コストなプロビジョニングを可能にします。

